

動物実験に関する検証結果報告書

国立大学法人 室蘭工業大学

動物実験に関する外部検証事業

(国立大学法人動物実験施設協議会・公私立大学実験動物施設協議会)

平成 29 年 3 月

平成 29 年 3 月 27 日

国立大学法人 室蘭工業大学  
学長 空閑 良壽 殿

貴機関における動物実験の実施体制に関して、提出された自己点検・評価報告書に対する検証結果を通知します。

国立大学法人動物実験施設協議会・公私立大学実験動物施設協議会  
動物実験に関する外部検証事業  
検証委員会 委員長



対象機関：国立大学法人 室蘭工業大学  
申請年月日：平成 28 年 12 月 7 日  
訪問調査年月日：平成 28 年 12 月 22 日  
調査員：磯貝 浩（札幌医科大学）

検証の総評

室蘭工業大学は大学院工学研究科および工学部を有する国立大学法人である。動物実験に関する機関内規程として「室蘭工業大学動物実験に関する規則」および「室蘭工業大学動物実験委員会規則」が定められている。機関内規程に基づく動物実験委員会によって実験計画が審査され、その結果を受けて学長が承認することで動物実験は実施されている。平成 27 年度には、新規計画 4 件および変更計画が 6 件承認され合計 10 件のマウスあるいはラットを使用する動物実験が実施された。学内には承認された実験動物飼養保管施設および動物実験室が各 1 か所設置されている。飼養保管施設および実験室の運営は実験動物管理者の指導の下で、「実験動物の飼養保管マニュアル」に則り、主に学生および大学院生によって行われている。動物実験を実施している関係者は少数の教員および学生に限られるが、大学の役員および事務局の協力の下で適正に実施されている。

## 検証結果

### I. 規程及び体制等の整備状況

#### 1. 機関内規程

1) 機関による自己点検・評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する機関内規程が定められている。 <input type="checkbox"/> 機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 機関内規程が定められていない。
2) 自己点検・評価の妥当性 「室蘭工業大学動物実験に関する規則」および「室蘭工業大学動物実験委員会規則」が定められている。これらの規則には学長の責務をはじめとする文部科学省の動物実験基本指針（以下「基本指針」とする）が求めている各種の要件が網羅されている。よって、自己点検・評価結果は、妥当である。
3) 検証の結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する機関内規程が定められている。 <input type="checkbox"/> 機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 機関内規程が定められていない。
4) 改善に向けた意見 特になし。

#### 2. 動物実験委員会

1) 機関による自己点検・評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する動物実験委員会が置かれている。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会は置かれているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会は置かれていない。
2) 自己点検・評価の妥当性 「室蘭工業大学動物実験に関する規則」および「室蘭工業大学動物実験委員会規則」に基づいて動物実験委員会が組織されている。委員会を構成する委員には、前記の規則に基づいて副学長あるいは副理事長、動物実験および実験動物に優れた識見を有する者、ならびにその他学長が必要と認めた者を選任するように定められている。動物実験委員会の職務は「室蘭工業大学動物実験委員会規則」に定められている。よって、自己点検・評価結果は、妥当である。
3) 検証の結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する動物実験委員会が置かれている。

- 動物実験委員会は置かれているが、一部に改善すべき点がある。
- 動物実験委員会は置かれていない。

4) 改善に向けた意見

特になし。

3. 動物実験の実施体制

1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。
- 動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。
- 動物実験の実施体制が定められていない。

2) 自己点検・評価の妥当性

動物実験に関係する各種の様式が定められている。実験計画書は、実験の目的、実験の具体的な実施方法、代替法の検討、使用動物種、系統、微生物学的品質および数、飼養保管施設、実験室、麻酔法、安楽死法、苦痛度人道的エンドポイントならびに死体の処理方法等が記載できようになっている。よって、自己点検・評価結果は、妥当である。

3) 検証の結果

- 基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。
- 動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。
- 動物実験の実施体制が定められていない。

4) 改善に向けた意見

将来、遺伝子組換え動物の飼養の可能性が予測されているので、関連委員会との協力体制について検討されたい。

4. 安全管理を要する動物実験の実施体制

1) 機関による自己点検・評価結果

- 該当する動物実験の実施体制が定められている。
- 該当する動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。
- 該当する動物実験の実施体制が定められていない。
- 該当する動物実験は、行われていない。

2) 自己点検・評価の妥当性

現在まで感染実験や遺伝子組換え動物の使用等の安全管理を要する実験は行われていない。よって、自己点検・評価結果は、妥当である。

3) 検証の結果

- 該当する動物実験の実施体制が定められている。
- 該当する動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。
- 該当する動物実験の実施体制が定められていない。
- 該当する動物実験は、行われていない。

4) 改善に向けた意見

将来、遺伝子組換え動物を使用した実験が実施される可能性があるので、実施体制について検討を始められたい。

5. 実験動物の飼養保管の体制

1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検・評価の妥当性

飼養保管施設および実験室は動物実験委員会で設置の状況を審査し、学長によって承認されている。飼養保管の手順は「実験動物の飼養保管マニュアル」に定められており、動物実験実施者に周知されている。よって、自己点検・評価結果は、妥当である。

3) 検証の結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

4) 改善に向けた意見

実験動物の逸走時や緊急時の具体的な対応について、マニュアル等に追記することを早急に検討されたい。

6. その他（動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果）

動物実験委員会のメンバーに副学長を選任し、動物実験に関する安全対策等に大学全体として即応できる体制を組織していることは評価できる。

## Ⅱ. 実施状況

### 1. 動物実験委員会

1) 機関による自己点検・評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に機能している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検・評価の妥当性 動物実験委員会は実験計画書、飼養保管施設の設置、実験室の設置、経過報告、終了報告等を審査し、学長が承認しており、それらの記録も保存されている。よって、自己点検・評価結果は、妥当である。
3) 検証の結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に機能している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
4) 改善に向けた意見 実験動物の操作に関する、より詳細な審査方法を検討されたい。

### 2. 動物実験の実施状況

1) 機関による自己点検・評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検・評価の妥当性 動物実験は承認された実験計画書の内容に沿って、実験動物管理者でもある教官の指導のもとで適正に実施されている。「動物実験終了報告書」が提出され、動物実験委員会の審査を経て学長が決裁している。よって、自己点検・評価結果は、妥当である。
3) 検証の結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
4) 改善に向けた意見 検証委員会が使用を推奨している「動物実験の自己点検票（様式 2-1）」の使用を検討されたい。

3. 安全管理を要する動物実験の実施状況

1) 機関による自己点検・評価結果
<input type="checkbox"/> 該当する動物実験が適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。 <input checked="" type="checkbox"/> 該当する動物実験は行われていない。
2) 自己点検・評価の妥当性
感染動物実験、遺伝子組換え動物を使用した実験、有害化学物質を使用した動物実験、放射線を使用した動物実験等の安全管理を要する動物実験は実施されていない。よって、自己点検・評価結果は、妥当である。
3) 検証の結果
<input type="checkbox"/> 該当する動物実験が適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。 <input checked="" type="checkbox"/> 該当する動物実験は行われていない。
4) 改善に向けた意見
遺伝子組換え動物を使用した実験は、将来的に実施される可能性があることから、実施に向けた体制の整備を検討されたい。

4. 実験動物の飼養保管状況

1) 機関による自己点検・評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検・評価の妥当性
実験動物の日常管理は「実験動物の飼養保管マニュアル」に基づいて行われている。飼養保管施設は部屋全体がエアコンで温度管理され、実験動物は床敷のある樹脂ケージに入れられ、換気機能を有する飼育装置の個別ボックスに収容され飼育されている。飼養保管施設の自己点検評価は「実験動物飼養保管状況の自己点検票」を用いて行われている。よって、自己点検・評価結果は、妥当である。
3) 検証の結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。

4) 改善に向けた意見

特になし。

5. 施設等の維持管理の状況

1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検・評価の妥当性

入室は鍵によって管理されており、入室許可された特定の人員のみが入室できる。入退出時には、備え付けの記録帳に氏名、日時、部屋の状態、実験動物の状態が記帳され、実験動物管理者が随時確認している。よって、自己点検・評価結果は妥当である。

3) 検証の結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

4) 改善に向けた意見

飼養保管施設の入退出などを記帳する記録帳について、定期的に動物実験委員会の決裁項目とすることを検討されたい。

6. 教育訓練の実施状況

1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検・評価の妥当性

教育訓練は動物実験実施者を対象に毎年開催されている。平成 27 年度は 7 名を対象に開催された。訓練内容は 3 人の講師による講義で、その内容は記録・保管され、大学のホームページに公開されている。実験動物管理者に対する教育訓練は、研修会等への参加としては実施されていないが、積極的に情報を収集するなど十分な知識を有していると認められる。よって、自己点検・評価結果は、妥当である。

3) 検証の結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。



- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

4) 改善に向けた意見

実験動物管理者を対象とした教育訓練について、各種学会や国立大学法人動物実験施設協議会、公私立大学実験動物施設協議会が開催する研修会への参加を検討されたい。

7. 自己点検・評価、情報公開

1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検・評価の妥当性

自己点検・評価は平成 25 年度および 26 年度に実施され大学ホームページに公開されている。情報公開は基本指針に従って多くの項目が公開されているが、動物実験委員会に関する情報公開が行われていない。よって、「概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。」とする。

3) 検証の結果

- 基本指針に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

4) 改善に向けた意見

動物実験委員会に関する情報公開を検討されたい。

8. その他

（動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果）

工業大学という環境ゆえに動物実験を実施している関係者は少数の教員および学生に限られているが、大学の役員および事務局の協力の下で適正に実施されていることは評価できる。